

都民生活に関する世論調査〈概要〉

令和4年12月

調査実施の概要

1 調査目的

都民の日常生活に関わる意識や、東京に対する意識を捉えるとともに、都政に対する都民の意識や意見・要望を把握し、今後の都政運営の参考とする。

また、今回は随時テーマとして、文化活動への興味・関心や文化施策に対する要望など、文化に関する意識等を調査した。

2 調査項目

- (1) 暮らし
- (2) 住んでいる地域
- (3) 東京
- (4) 都政への要望
- (5) 東京の文化
- (6) 都民の文化活動
- (7) これからの東京の文化振興

3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数：4,000標本〔令和元年までは3,000標本〕
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：郵送法（郵送配布・郵送回収、WEB〔インターネット〕回答併用）
〔令和元年までは個別訪問面接聴取法〕
- (5) 調査期間：令和4年6月17日～7月17日
- (6) 調査実施機関：一般社団法人中央調査社

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率）：1,883標本（47.1%）〔うち郵送1,228標本、インターネット655標本〕
- (2) 未完了標本数（率）：2,117標本（52.9%）

調査結果の概要

※nは質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。

※個々の比率の合計は、全体の計に一致しないことがある。

※M. A. はいくつでも選択、5M. A. は5つ選択、3M. A. は3つ選択

※M. T. は回答の合計をnで割った比率

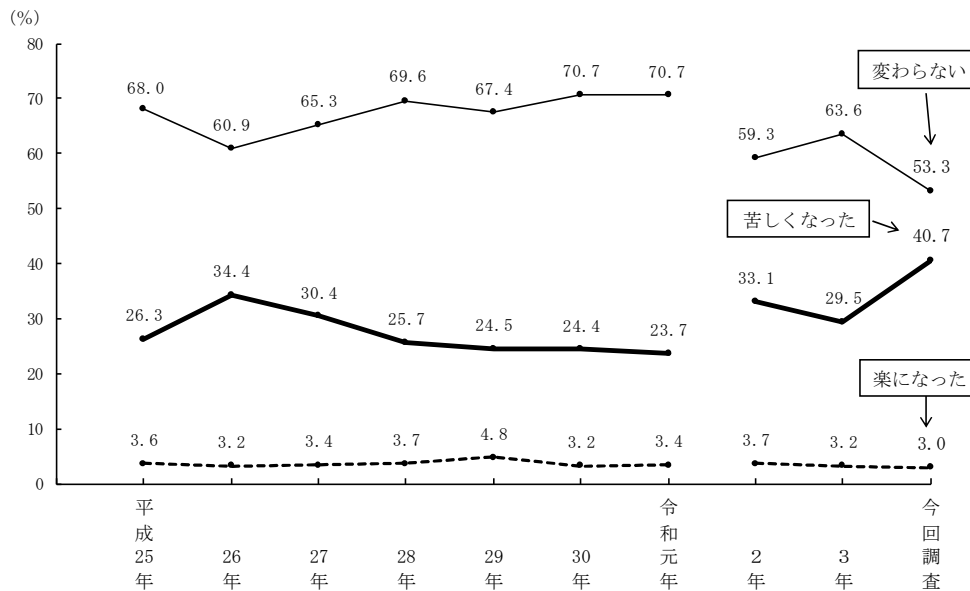
※令和元年までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年から郵送法（インターネット回答併用）で実施したため、元年以前と単純に比較することはできないので留意が必要

1 暮らし

(1) 暮らしむきの変化：暮らしは、昨年の今ごろと比べて楽になったか、苦しくなったかを聞いた。

(本文P3～P8)

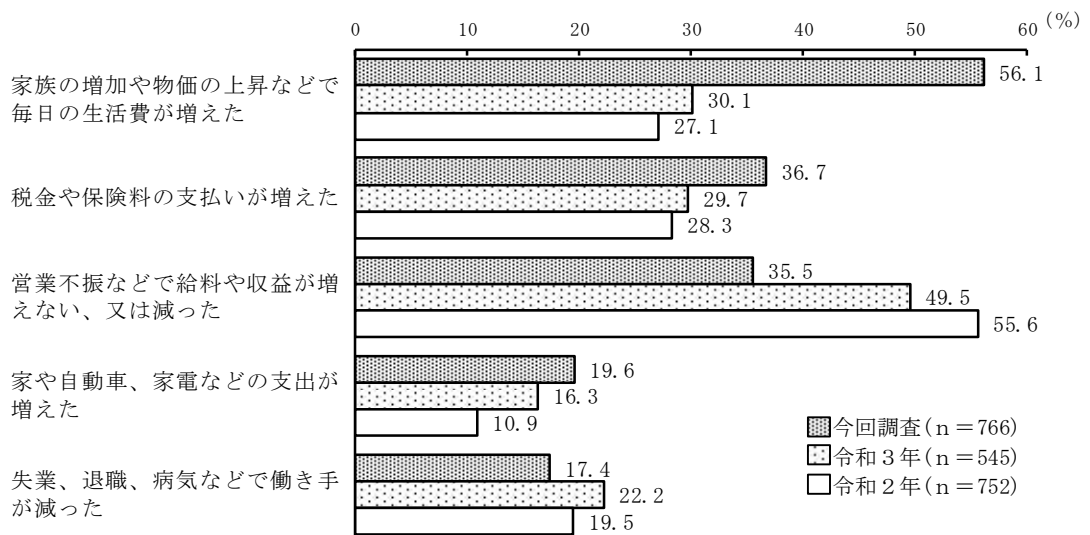
- ・「苦しくなった」は41%（昨年より11ポイント増加）
- ・「変わらない」は53%（昨年より10ポイント減少）



[暮らしむきが苦しくなった理由]：「苦しくなった」と答えた人（766人）に、その理由を聞いた。

(M. A.) (上位5位)

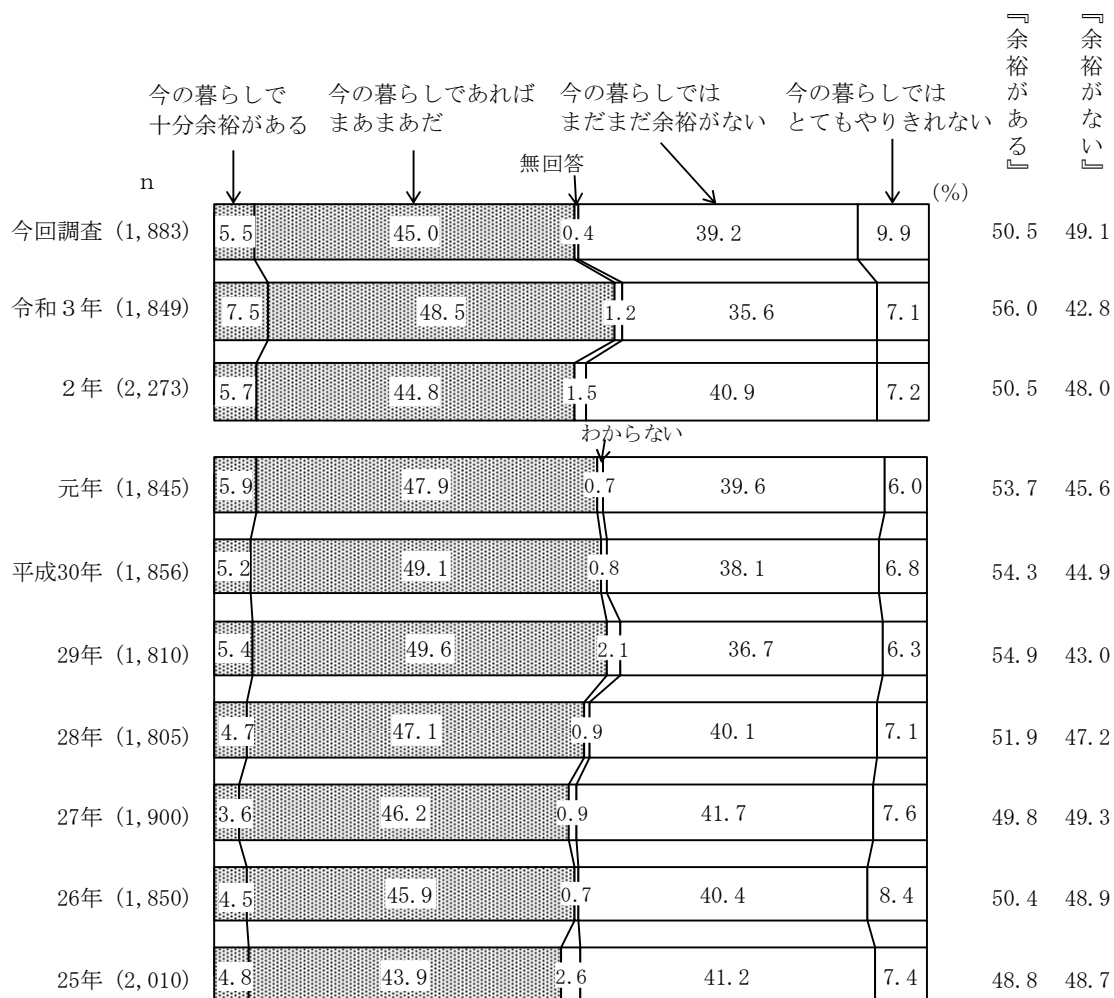
- ・「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」が56%でトップ（昨年より26ポイント増加）



(2) 暮らしの余裕：暮らしの余裕について聞いた。

(本文 P9～P13)

- ・『余裕がある』は51%（昨年より6ポイント減少）
- ・『余裕がない』は49%（昨年より6ポイント増加）



(注) 『余裕がある』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計
 『余裕がない』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

(3) 生活程度：5段階に分けた生活程度がどれにあたると思うか聞いた。

(本文P14～P17)

- ・『中』は79% (昨年より4ポイント減少)
- ・「下」は13%

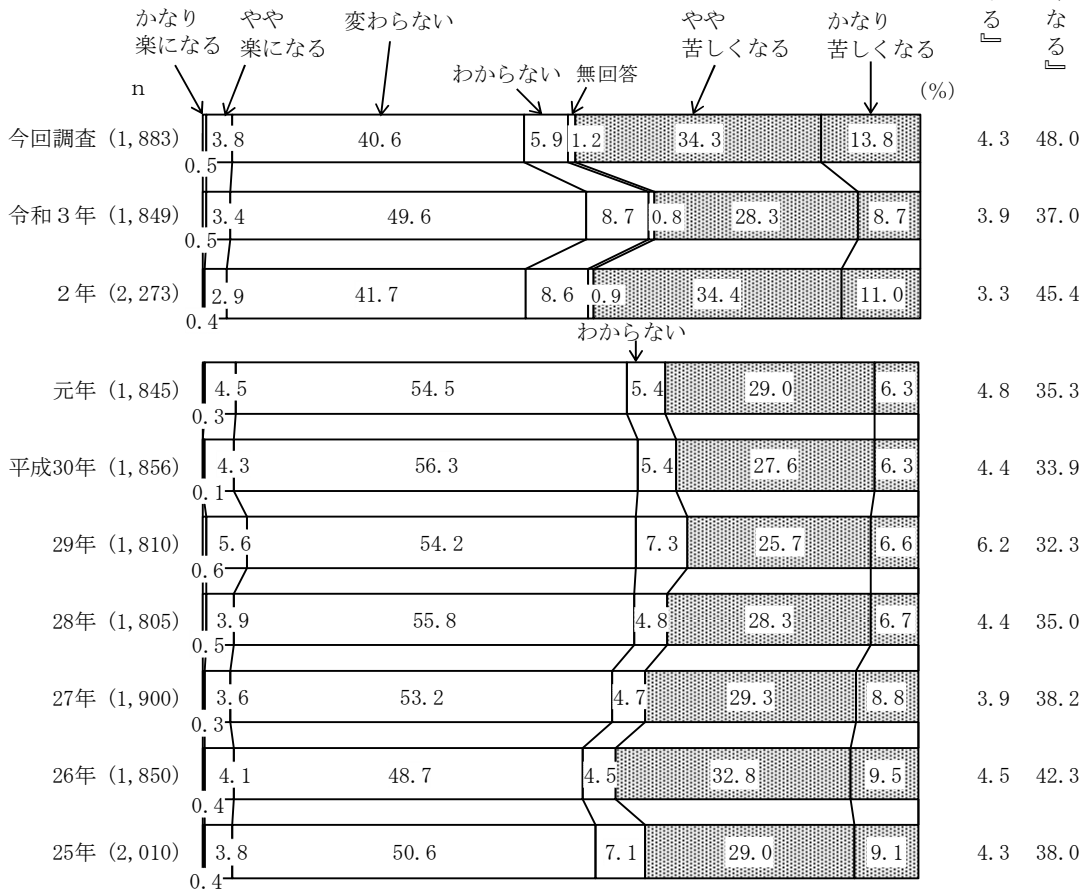
n	生活程度						無回答 (%)	中 (計)
	上	中の上	中の中	中の下	下	わからない		
今回調査 (1,883)	1.9	15.6	37.0	26.0	13.3	6.1	0.2	78.6
令和3年 (1,849)	1.5	17.0	38.2	27.4	9.5	6.2	0.3	82.6
2年 (2,273)	1.8	16.2	35.9	27.8	11.6	6.1	0.7	79.9
元年 (1,845)	1.5	12.1	45.0	27.4	10.0	3.9		84.6
平成30年 (1,856)	0.9	12.3	44.4	29.5	9.2	3.7		86.2
29年 (1,810)	1.3	13.3	45.2	27.0	7.8	5.4		85.5
28年 (1,805)	0.9	11.9	45.2	29.5	10.5	2.0		86.5
27年 (1,900)	0.5	10.9	44.1	30.7	10.9	2.9		85.7
26年 (1,850)	0.9	11.8	44.2	30.6	9.9	2.6		86.5
25年 (2,010)	1.0	11.6	44.3	28.6	9.2	5.2		84.6

(注) 『中』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

(4) これからの暮らしむき：これから1年間の暮らしむきを聞いた。

(本文 P 18～ P 22)

- ・『苦しくなる』は48%（昨年より11ポイント増加）
- ・『変わらない』は41%（昨年より9ポイント減少）

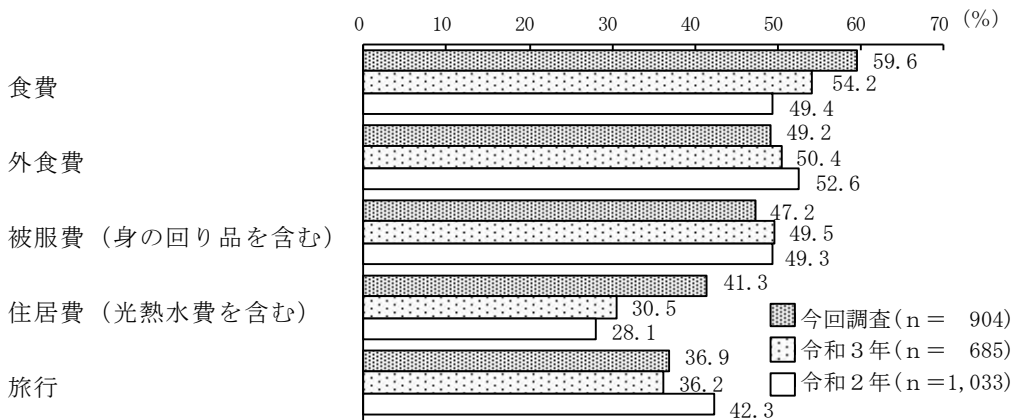


(注) 『楽になる』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
『苦しくなる』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

(5) 今後切りつけていくもの：これから1年間の暮らしむきが、「やや苦しくなる」「かなり苦しくなる」と答えた人(904人)に、今後切りつけていこうと思うものについて聞いた。(M. A.) (上位5位)

(本文 P 23～ P 25)

- ・「食費」が60%でトップ（昨年より5ポイント増加）
- ・「外食費」49%、「被服費（身の回り品を含む）」47%が続く



(6) 生活満足度：現在の生活に満足しているかどうか聞いた。

(本文 P 26～ P 29)

- ・『満足』は50%
- ・『不満』は45%

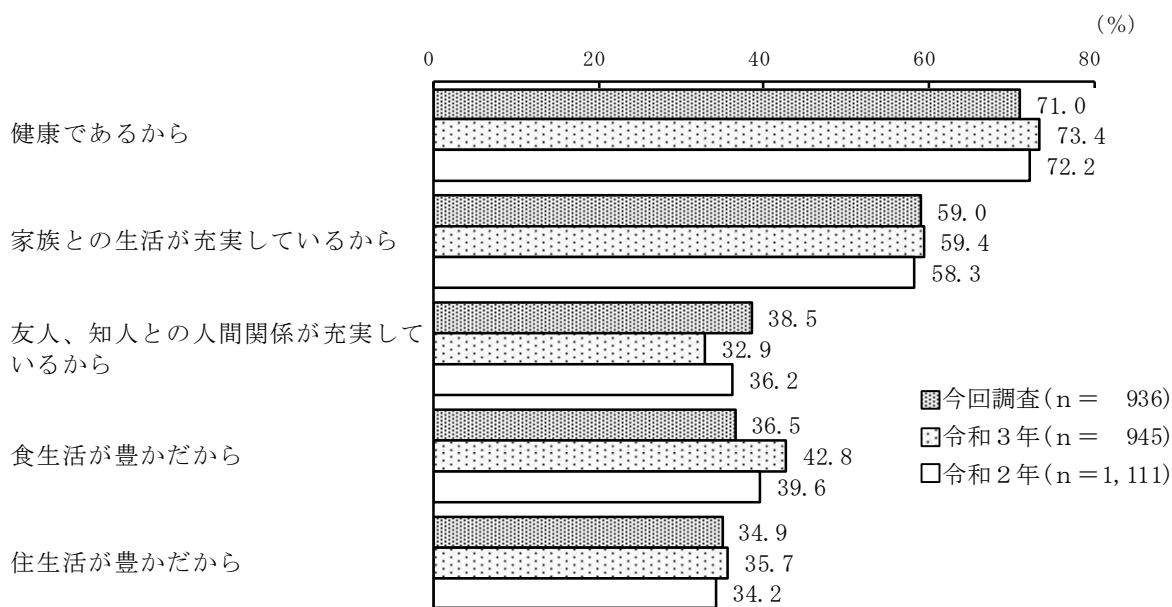
n	%						『満足』	『不満』
	大変満足している	まあ満足している	わからない	無回答	やや不満である	大変不満である		
今回調査 (1, 883)	3.2	46.5	4.0	1.1	34.9	10.2	49.7	45.2
令和3年 (1, 849)	3.7	47.4	4.9	1.0	34.2	8.7	51.1	42.9
2年 (2, 273)	3.1	45.8	4.4	1.5	35.6	9.6	48.9	45.2
元年 (1, 845)	4.4	48.8	6.3		33.2	7.3	53.2	40.5
平成30年 (1, 856)	4.5	49.9	4.7		33.6	7.2	54.4	40.8
29年 (1, 810)	4.5	49.4	5.8		33.3	7.0	54.0	40.2
28年 (1, 805)	4.4	49.3	4.8		33.1	8.4	53.7	41.6
27年 (1, 900)	3.0	47.8	4.1		35.9	9.1	50.8	45.1
26年 (1, 850)	3.6	49.4	3.6		34.0	9.5	53.0	43.5
25年 (2, 010)	4.3	49.5	4.9		32.6	8.7	53.8	41.3

(注) 『満足』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
 『不満』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

(7) 満足の理由：現在の生活に「大変満足している」「まあ満足している」と答えた人（936人）に、その理由を聞いた。（M. A.）（上位5位）

（本文 P 30～P 32）

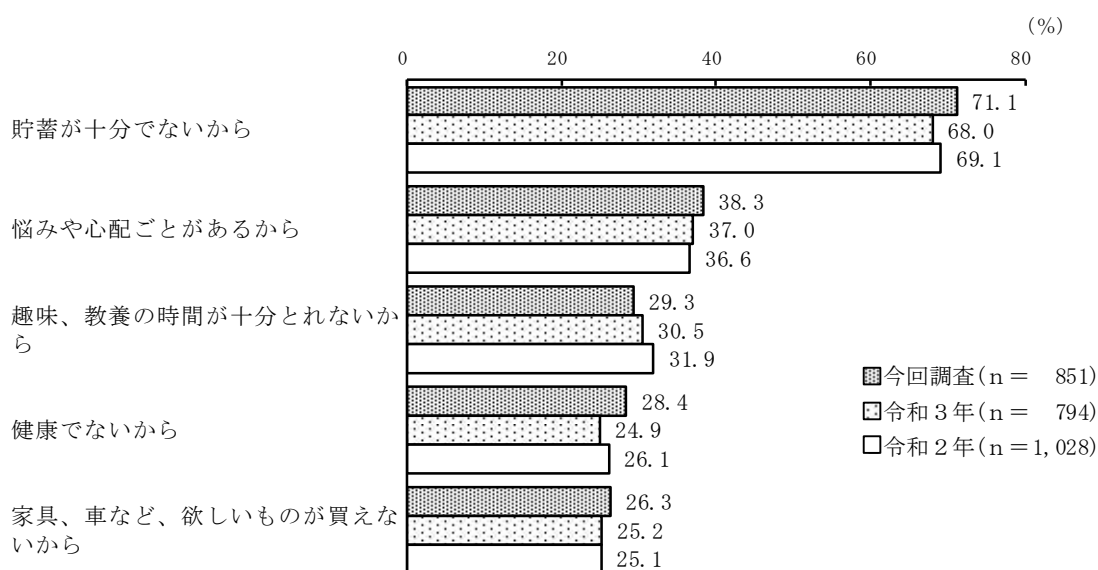
- ・「健康であるから」が71%でトップ
- ・「家族との生活が充実しているから」59%、「友人、知人との人間関係が充実しているから」39%が続く



(8) 不満の理由：現在の生活に「やや不満である」「大変不満である」と答えた人（851人）に、その理由を聞いた。（M. A.）（上位5位）

（本文 P 33～P 35）

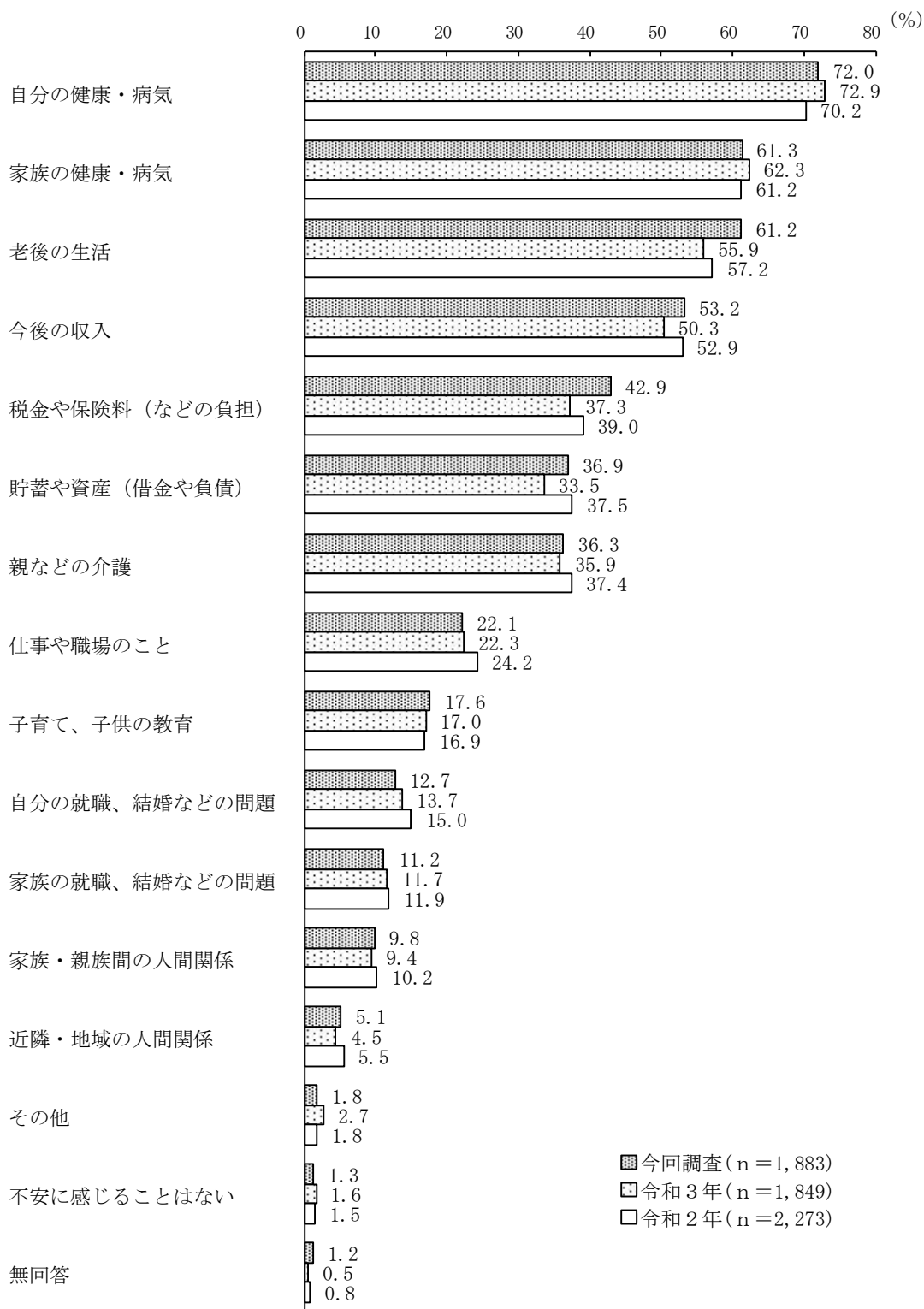
- ・「貯蓄が十分でないから」が71%でトップ
- ・「悩みや心配ごとがあるから」38%、「趣味、教養の時間が十分とれないから」29%が続く



(9) 今後の生活の不安：今後の生活で不安に感じることを聞いた。(M. A.)

(本文 P 36～ P 39)

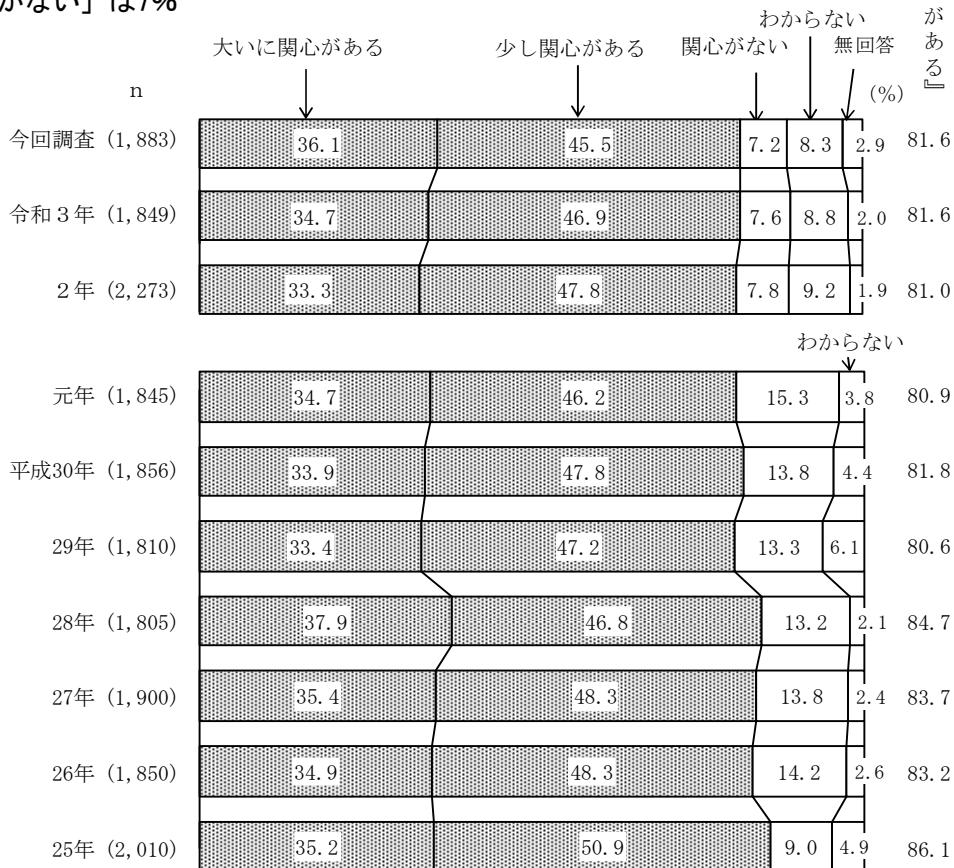
- ・「自分の健康・病気」が72%でトップ
- ・「家族の健康・病気」、「老後の生活」61%、「今後の収入」53%が続く



(10) 税金への関心度とその内容：税金について関心があるかどうか聞いた。

(本文 P 40～ P 45)

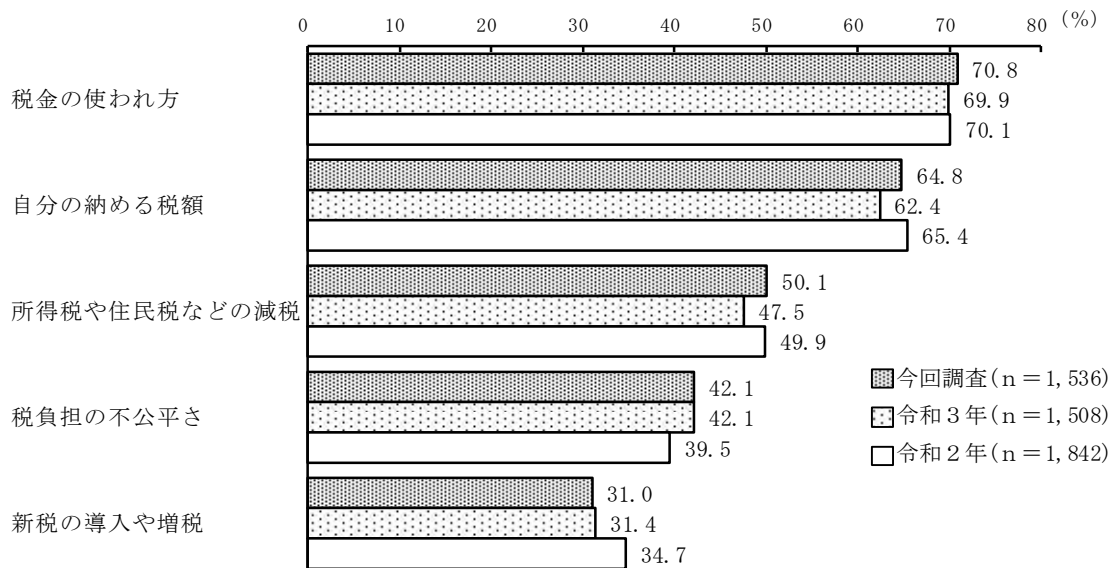
- ・『関心がある』は82%
- ・「関心がない」は7%



(注)『関心がある』は「大いに興味がある」「少し興味がある」の合計

[税金への関心の内容]：「大いに興味がある」「少し興味がある」と答えた人（1,536人）に、その内容を聞いた。（M. A.）（上位5位）

- ・「税金の使われ方」が71%でトップ
- ・「自分の納める税額」65%、「所得税や住民税などの減税」50%が続く

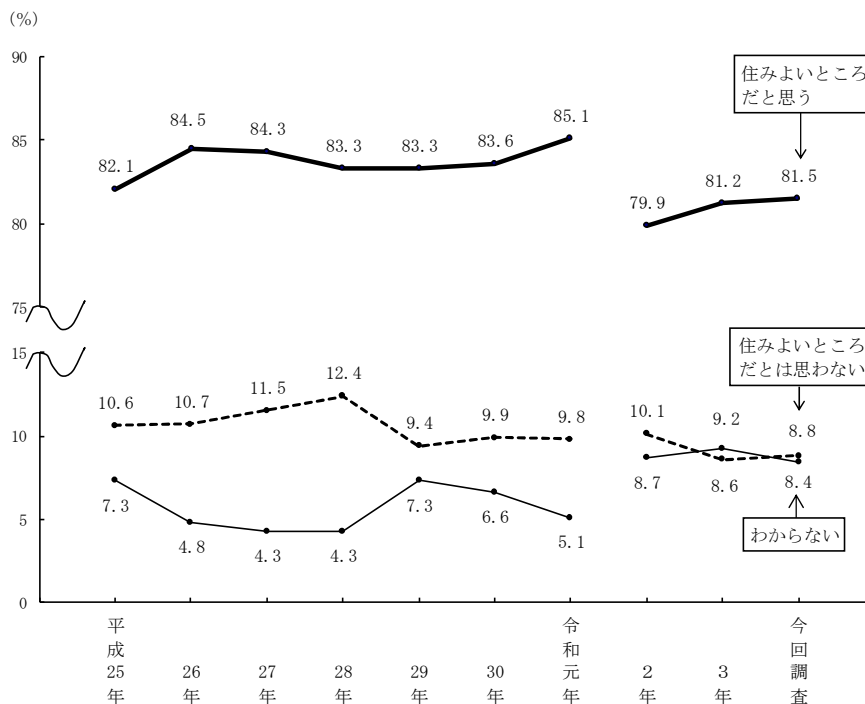


2 住んでいる地域

(1) 地域の住みよさ：今住んでいるところが住みよいところだと思うか聞いた。

(本文 P46～P49)

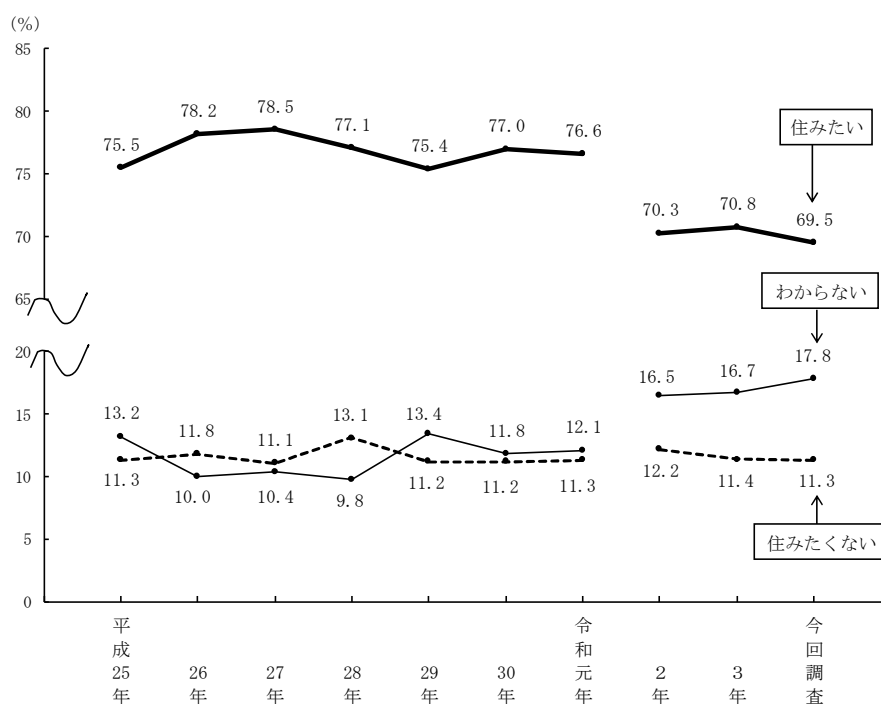
- ・「住みよいところだと思う」は82%
- ・「住みよいところだとは思わない」は9%



(2) 地域定住意向：今住んでいる地域に今後も住みたいと思うか聞いた。

(本文 P50～P59)

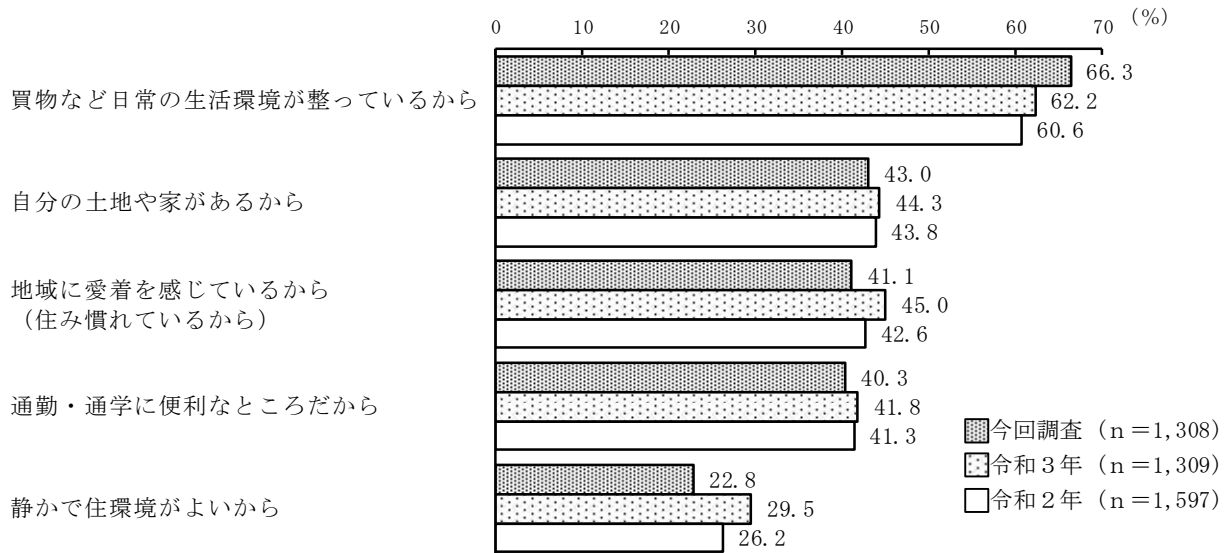
- ・「住みたい」は70%
- ・「住みたくない」は11%



[居住地域に住みたい理由]：「住みたい」と答えた人（1,308人）に、その理由を聞いた。

(3M. A.) (上位5位)

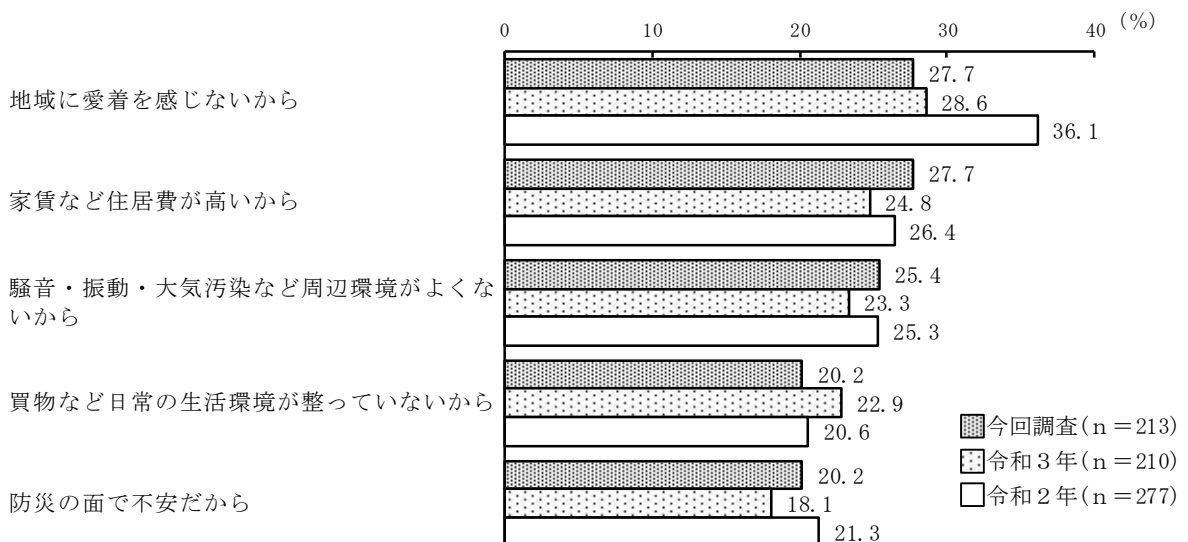
- ・「買物など日常の生活環境が整っているから」が66%でトップ
- ・「自分の土地や家があるから」43%、「地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）」41%、「通勤・通学に便利なところだから」40%が続く



[居住地域に住みたくない理由]：「住みたくない」と答えた人（213人）に、その理由を聞いた。

(3M. A.) (上位5位)

- ・「地域に愛着を感じないから」、「家賃など住居費が高いから」が28%でトップ
- ・「騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから」25%、「買い物などの日常の生活環境が整っていないから」20%が続く

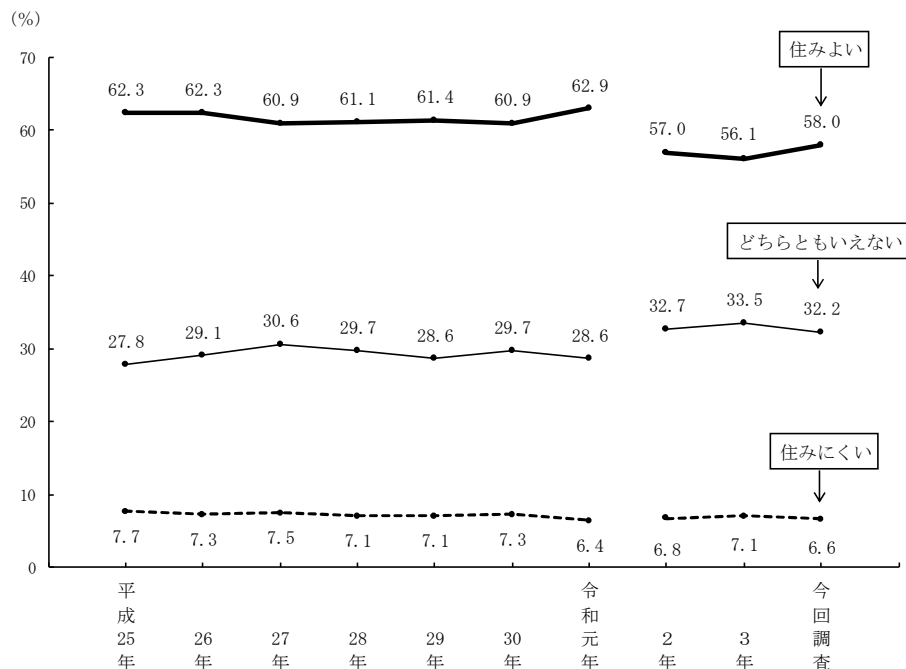


3 東京

(1) 東京の住みよさ：東京は全般的にみて住みよいところだと思うか聞いた。

(本文 P60～P65)

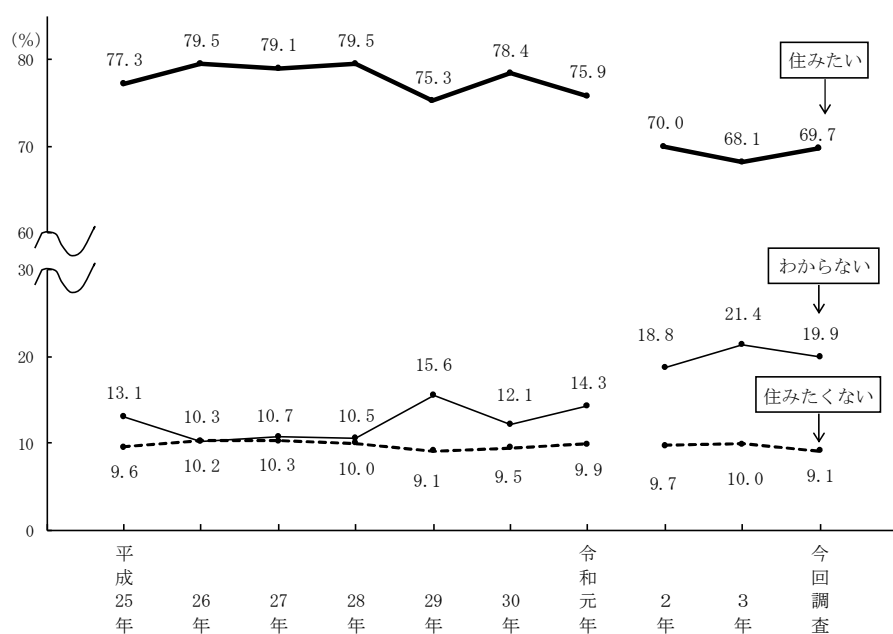
- ・「住みよい」は58%
- ・「住みにくい」は7%



(2) 東京定住意向：東京に今後もずっと住みたいと思うか聞いた。

(本文 P66～P78)

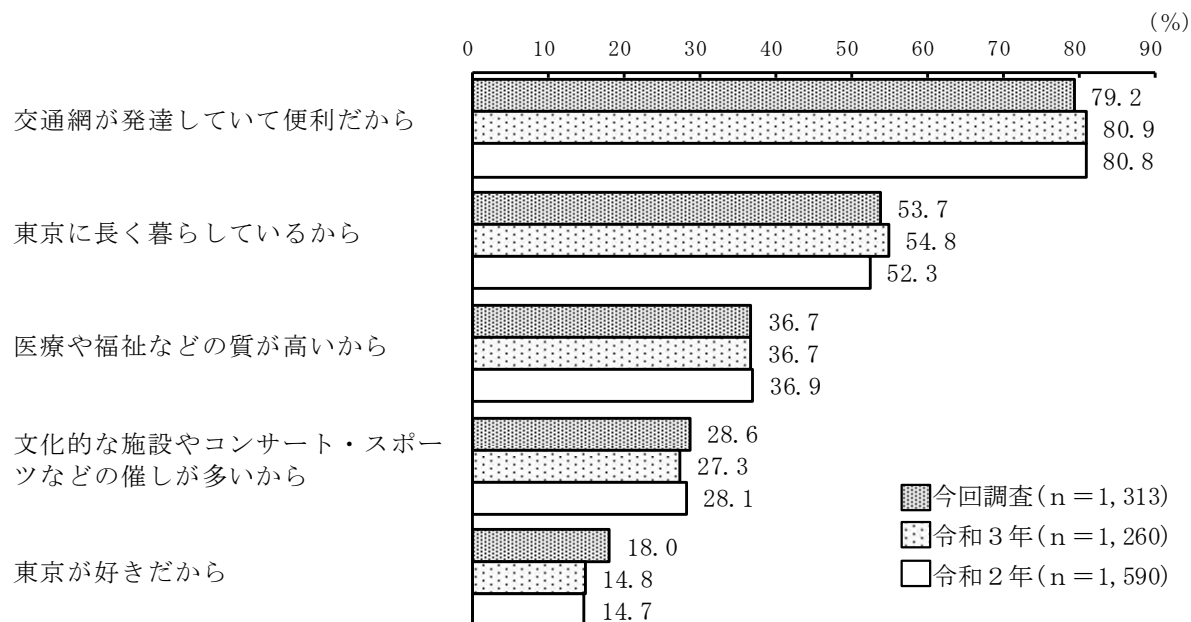
- ・「住みたい」は70% (昨年より2ポイント増加)
- ・「住みたくない」は9%



[東京に住みたい理由]：「住みたい」と答えた人（1,313人）に、その理由を聞いた。

(3M. A.) (上位5位)

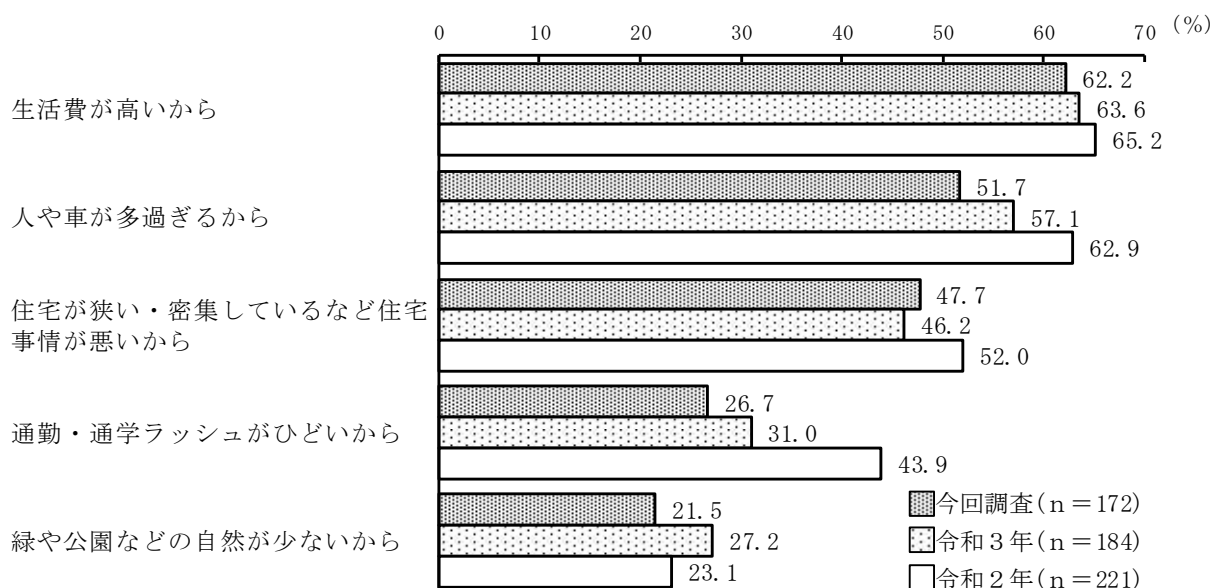
- ・「交通網が発達していて便利だから」が79%でトップ
- ・「東京に長く暮らしているから」54%、「医療や福祉などの質が高いから」37%が続く



[東京に住みたくない理由]：「住みたくない」と答えた人（172人）に、その理由を聞いた。

(3M. A.) (上位5位)

- ・「生活費が高いから」が62%でトップ
- ・「人や車が多過ぎるから」52%、「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」48%が続く

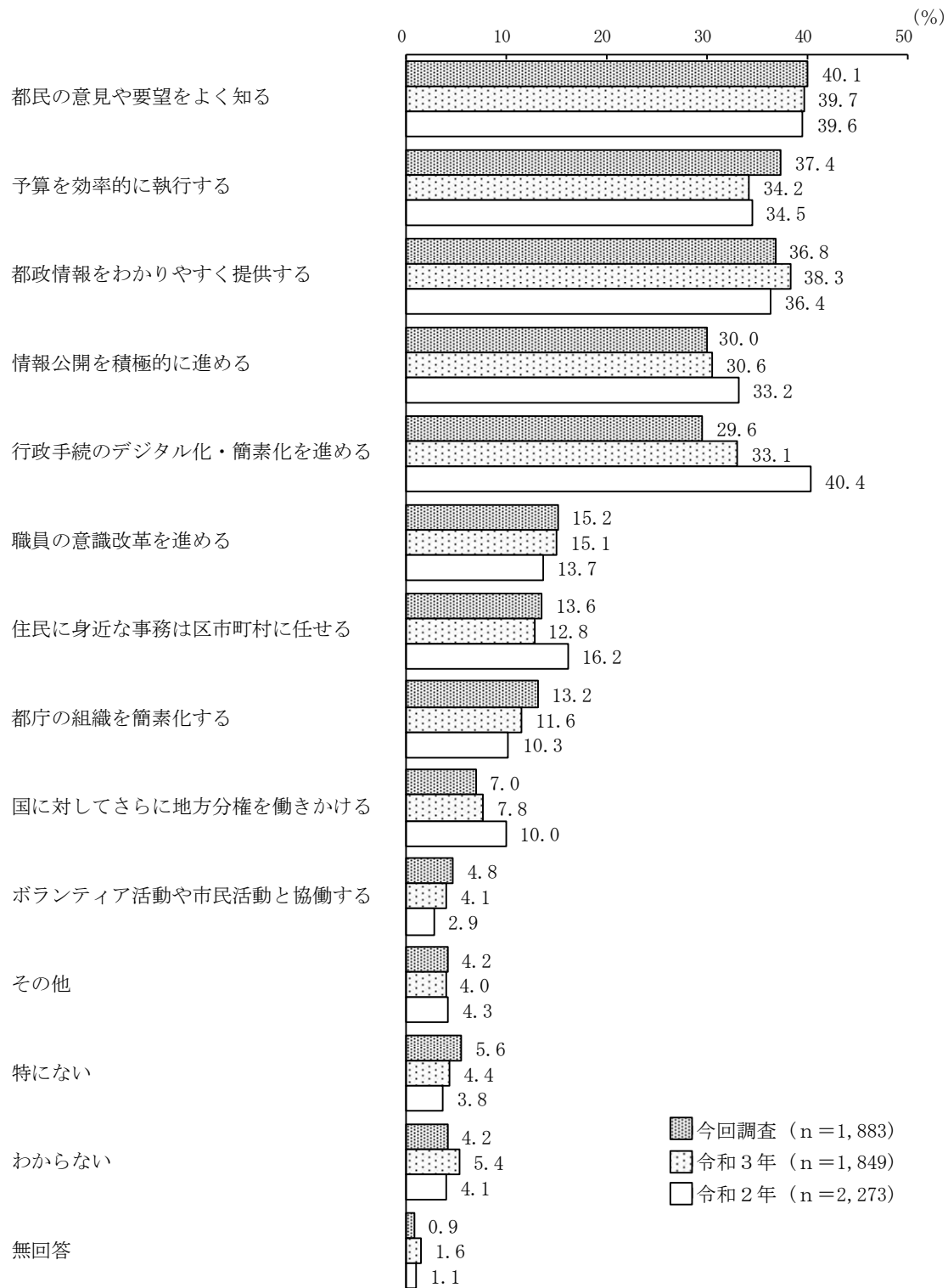


4 都政への要望

(1) これからの都政の進め方：これからの都政の進め方に対して、特に望むことを聞いた。

(3M. A.) (本文P79～P81)

- ・「都民の意見や要望をよく知る」が40%でトップ
- ・「予算を効率的に執行する」、「都政情報をわかりやすく提供する」37%、「情報公開を積極的に進める」30%が続く

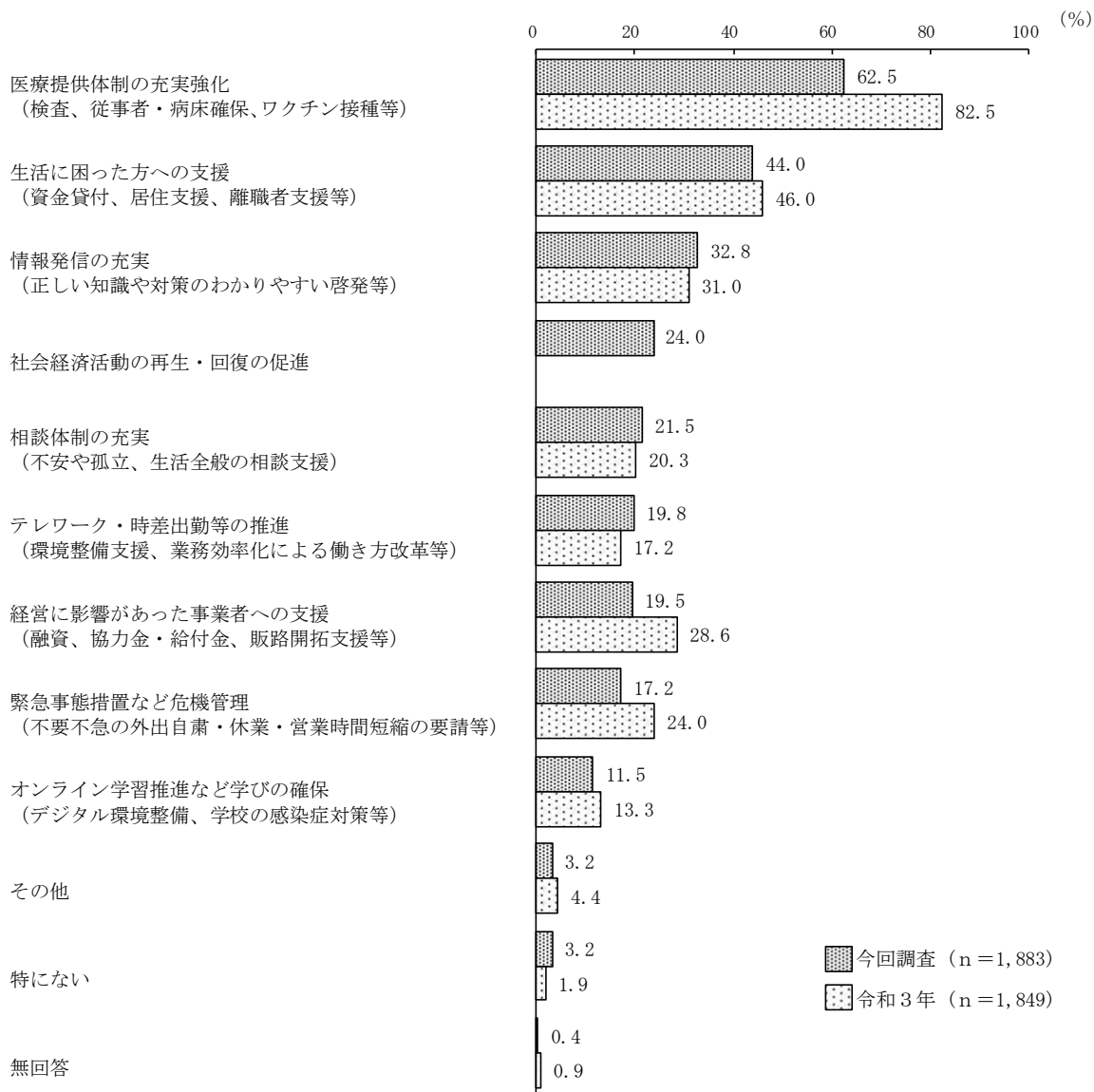


(注) 「行政手続のデジタル化・簡素化を進める」は令和2年までは「事務手続きを簡素化する」

(2) 新型コロナウイルス感染症対策：東京都に特に望む対策について聞いた。(3M. A.)

(本文 P 82～ P 85)

- ・「医療提供体制の充実強化」が63%でトップ（昨年より20ポイント減少）
- ・「生活に困った方への支援」44%、「情報発信の充実」33%、「社会経済活動の再生・回復の促進」24%が続く

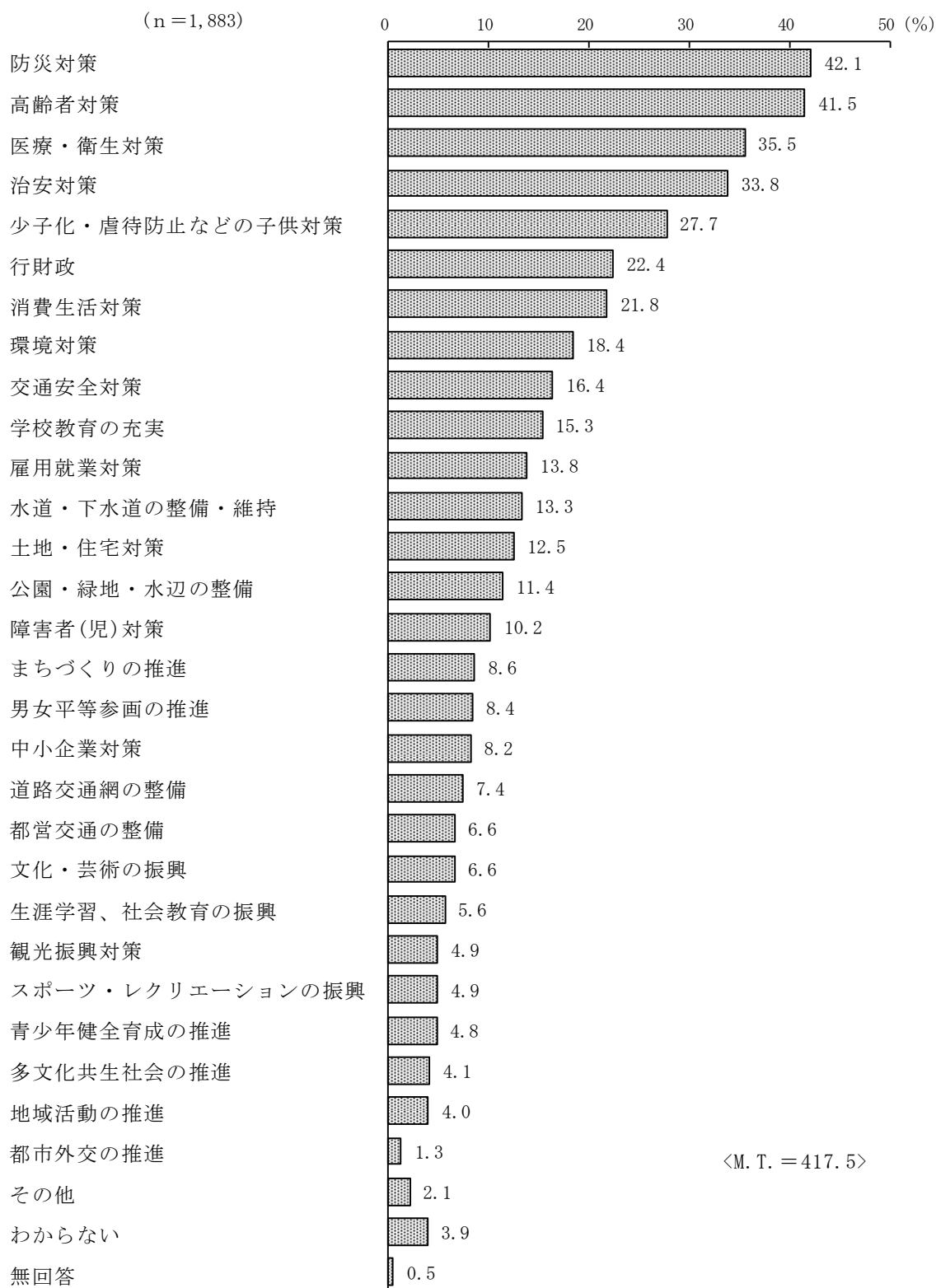


(注) 「社会経済活動の再生・回復の促進」は今回調査より追加

(3) 都政への要望：東京都に対して特に力を入れてほしい施策を聞いた。(5M. A.)

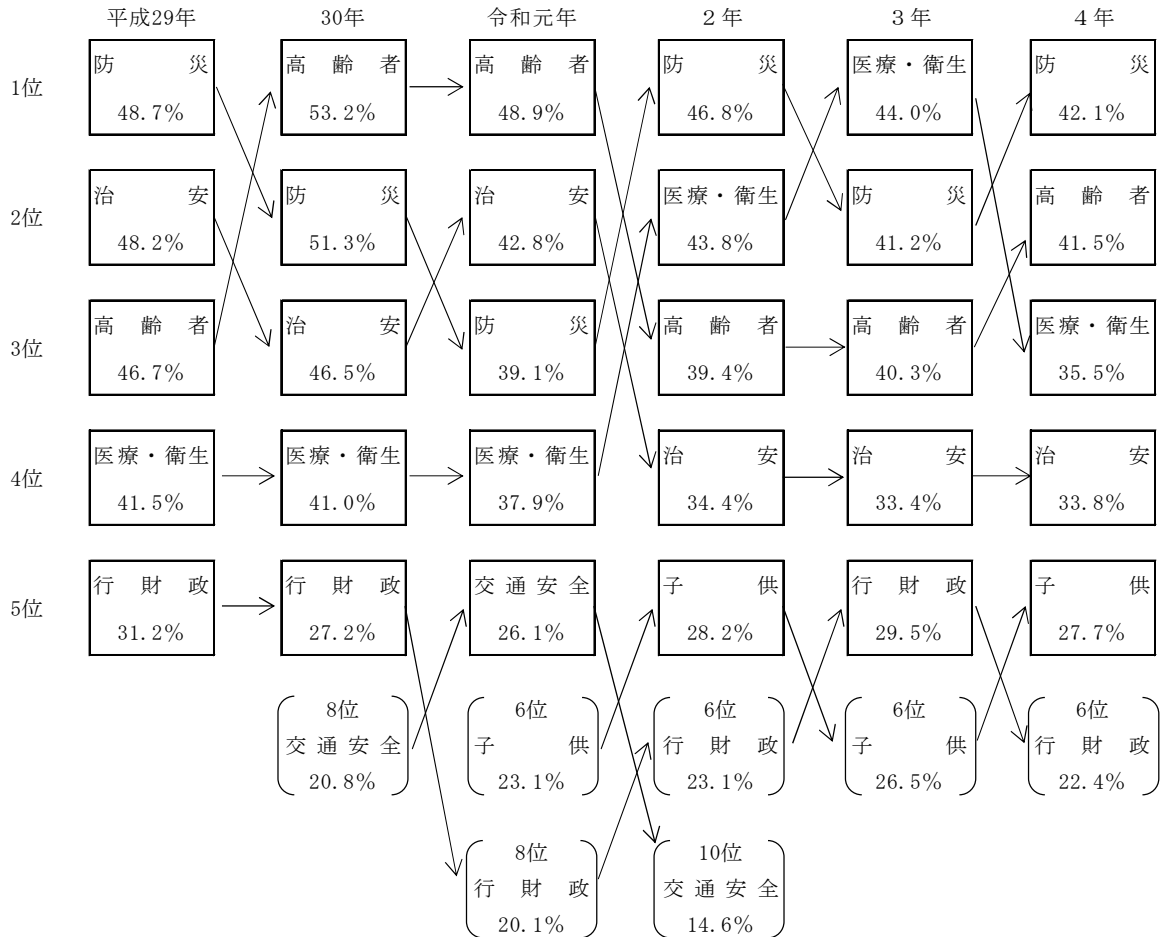
(本文P86～P89)

- ・「防災対策」が42%でトップ
- ・「高齢者対策」42%、「医療・衛生対策」36%、「治安対策」34%、「少子化・虐待防止などの子供対策」28%が続く



[上位5位の推移]

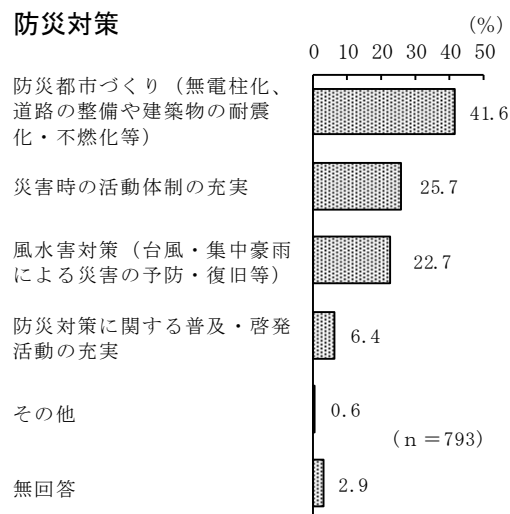
- ・「防災対策」は昨年の第2位から第1位
- ・「高齢者対策」は昨年の第3位から第2位
- ・「医療・衛生対策」は昨年より9ポイント減少し、第3位



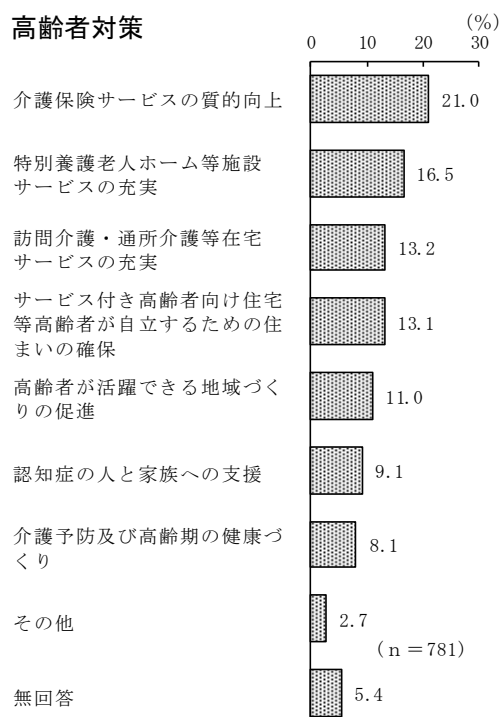
(注)「子供」：「少子化・虐待防止などの子供対策」

(4) 具体的な要望施策：力を入れてほしい分野について、具体的な内容を示して聞いた。(上位5位)
(本文P90～P95)

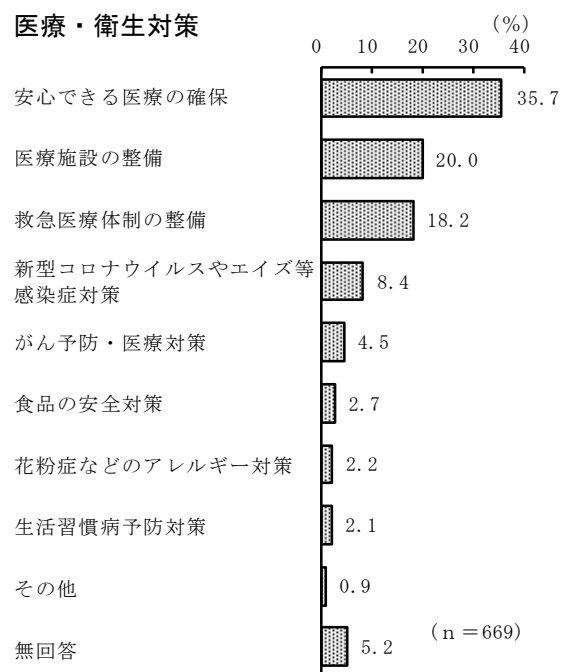
1 防災対策



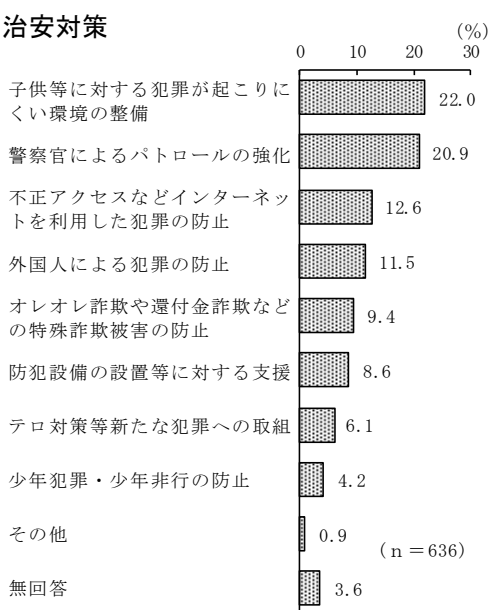
2 高齢者対策



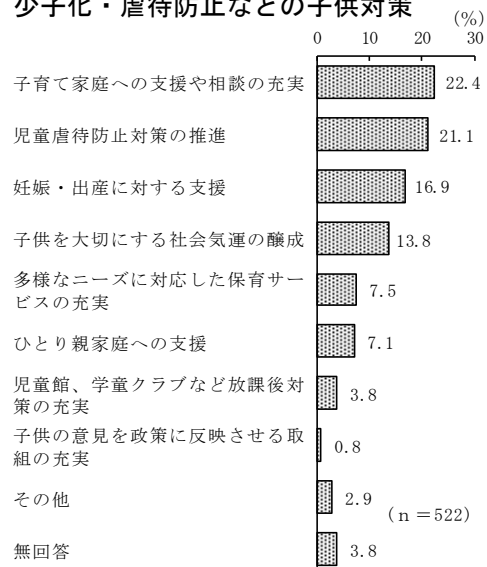
3 医療・衛生対策



4 治安対策



5 少子化・虐待防止などの子供対策

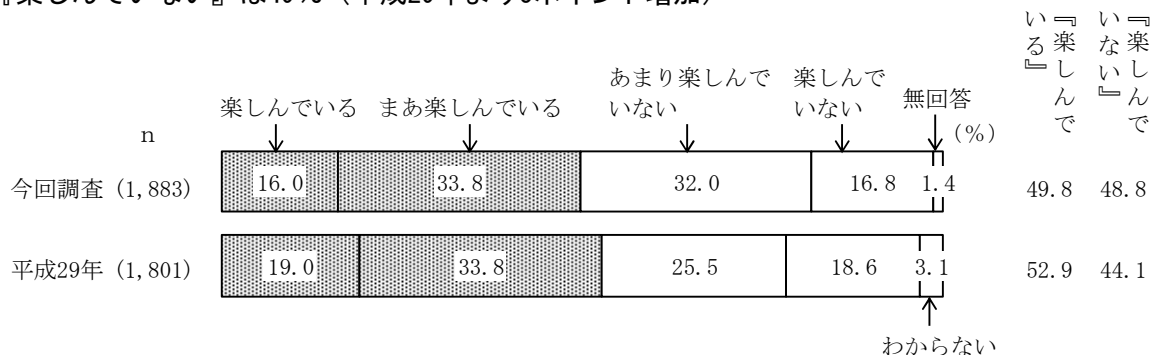


5 東京の文化

(1) 文化的な環境：東京の文化的な環境を楽しんでいるかを聞いた。

(本文 P96～P99)

- ・『楽しんでいる』は50%（平成29年より3ポイント減少）
- ・『楽しんでいない』は49%（平成29年より5ポイント増加）



(注1) 『楽しんでいる』は「楽しんでいる」「まあ楽しんでいる」の合計

『楽しんでいない』は「楽しんでいない」「あまり楽しんでいない」の合計

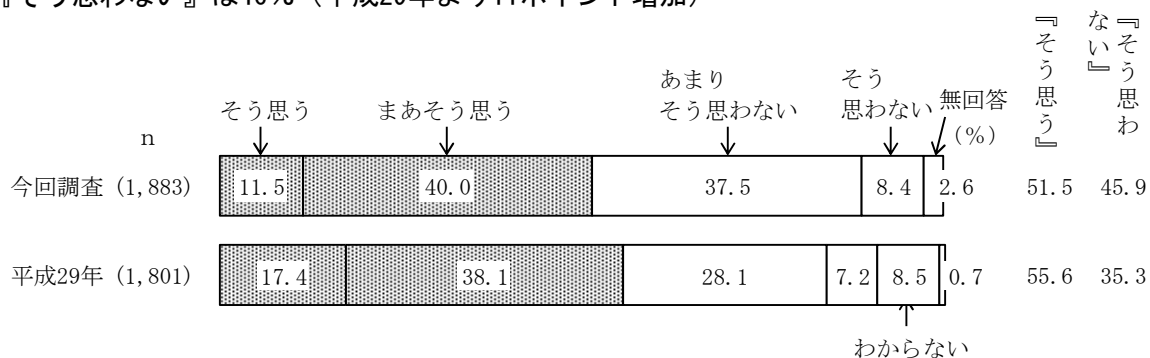
(注2) 「わからない」は今回調査で削除

(注3) 平成29年は「文化に関する世論調査（平成29年11月調査）」（以下同様）

(2) 東京は世界的な文化都市か：東京は世界的な文化都市であると思うか聞いた。

(本文 P100～P101)

- ・『そう思う』は52%（平成29年より4ポイント減少）
- ・『そう思わない』は46%（平成29年より11ポイント増加）



(注1) 『そう思う』は「そう思う」「まあそう思う」の合計

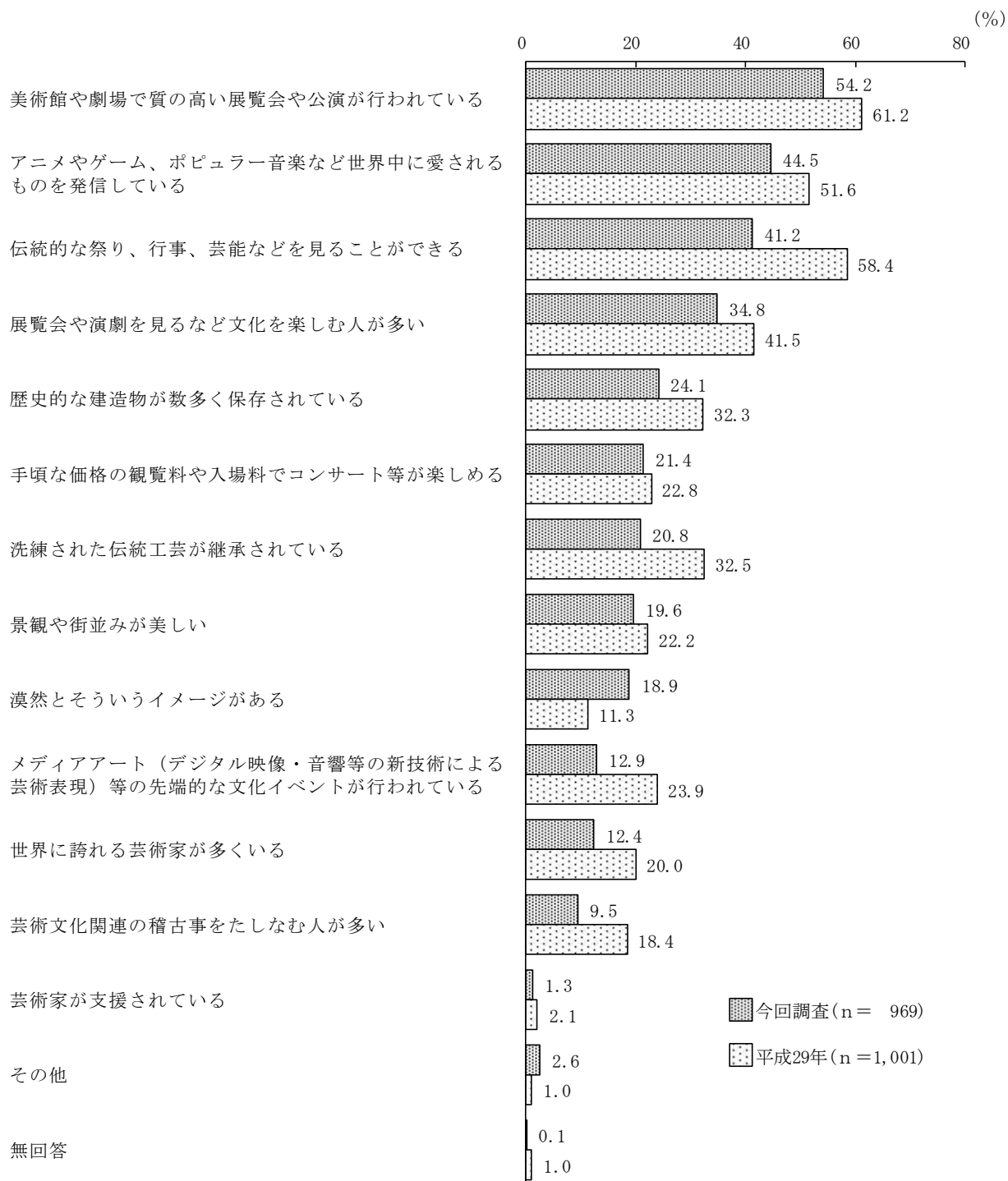
『そう思わない』は「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計

(注2) 「わからない」は今回調査で削除

(3) 文化都市であると思う理由：東京は世界的な文化都市であると思うと答えた人（969人）に、その理由を聞いた。（M. A.）

（本文P102～P104）

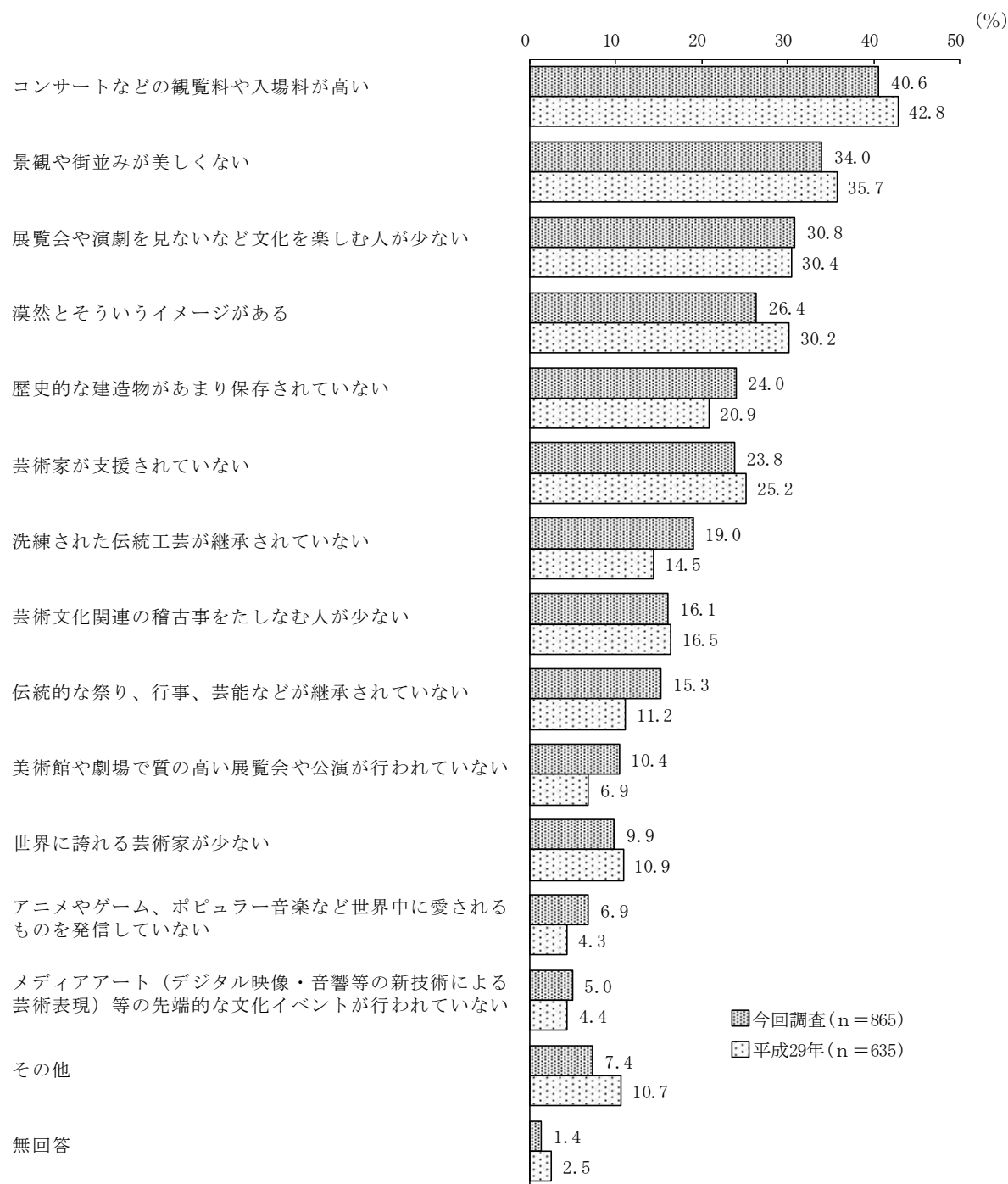
- ・「美術館や劇場で質の高い展覧会や公演が行われている」が54%でトップ
- ・「アニメやゲーム、ポピュラー音楽など世界中に愛されるものを発信している」45%、「伝統的な祭り、行事、芸能などを見ることができる」41%、「展覧会や演劇を見るなど文化を楽しむ人が多い」35%が続く



(4) 文化都市であると思わない理由：東京は世界的な文化都市であると思わないと答えた人
(865人)に、その理由を聞いた。(M. A.)

(本文P105～P107)

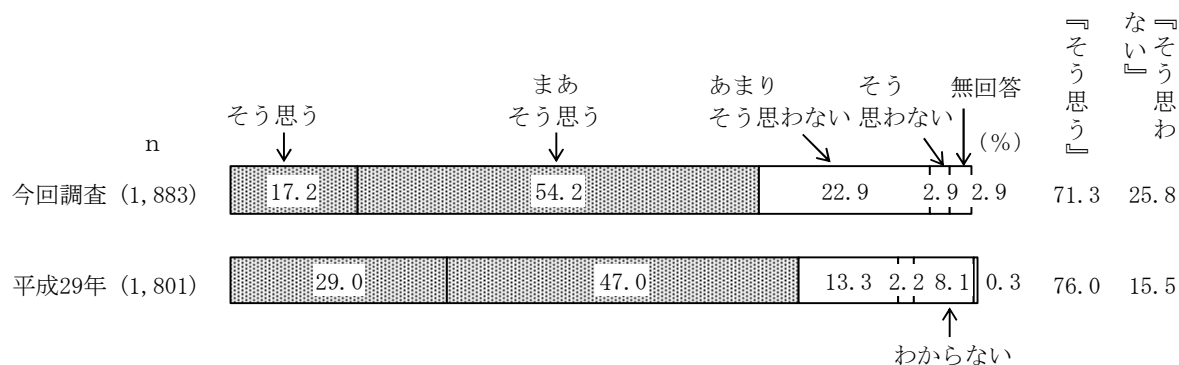
- ・「コンサートなどの観覧料や入場料が高い」が41%でトップ
- ・「景観や街並みが美しくない」34%、「展覧会や演劇を見ないなど文化を楽しむ人が少ない」31%、「漠然とそういうイメージがある」26%が続く



(5) 海外発信：日本の芸術文化の魅力は、海外に発信されていると思うかを聞いた。

(本文 P108～P109)

- ・『そう思う』は71%（平成29年より5ポイント減少）
- ・『そう思わない』は26%（平成29年より10ポイント増加）



(注1) 『そう思う』は「そう思う」「まあそう思う」の合計

『そう思わない』は「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計

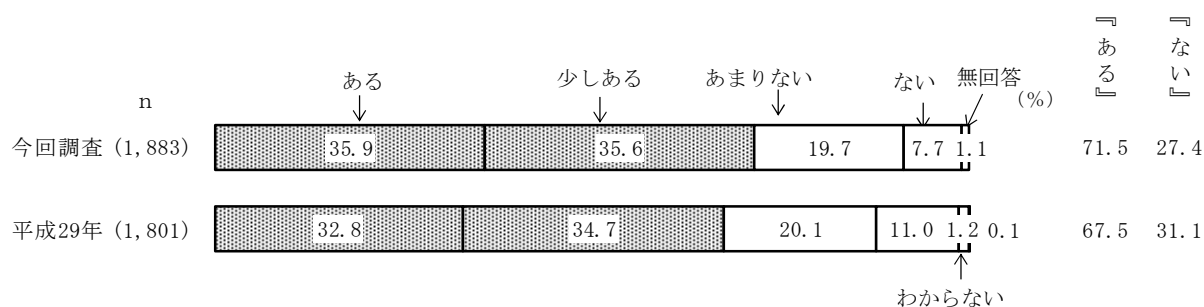
(注2) 「わからない」は今回調査で削除

6 都民の文化活動

(1) 文化鑑賞・文化イベント参加への興味・関心：芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加したりすることに興味・関心があるかを聞いた。

(本文 P110～P112)

- ・『ある』は72%（平成29年より4ポイント増加）
- ・『ない』は27%（平成29年より4ポイント減少）



(注1) 『ある』は「ある」「少しある」の合計

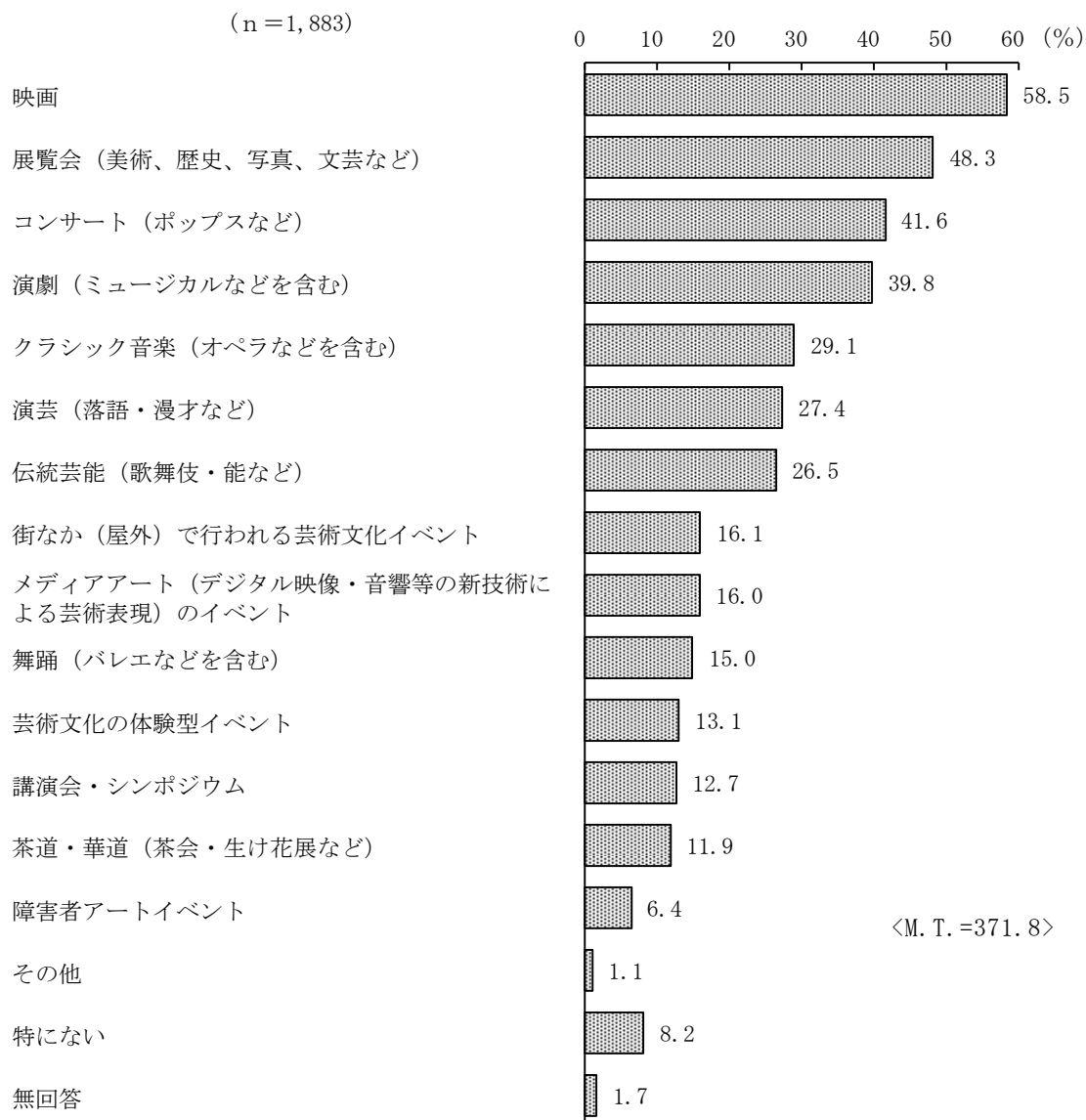
『ない』は「ない」「あまりない」の合計

(注2) 「わからない」は今回調査で削除

(2) 文化鑑賞・文化イベント参加への意向：どのような芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加したりしたいかを聞いた。(M. A.)

(本文P113～P116)

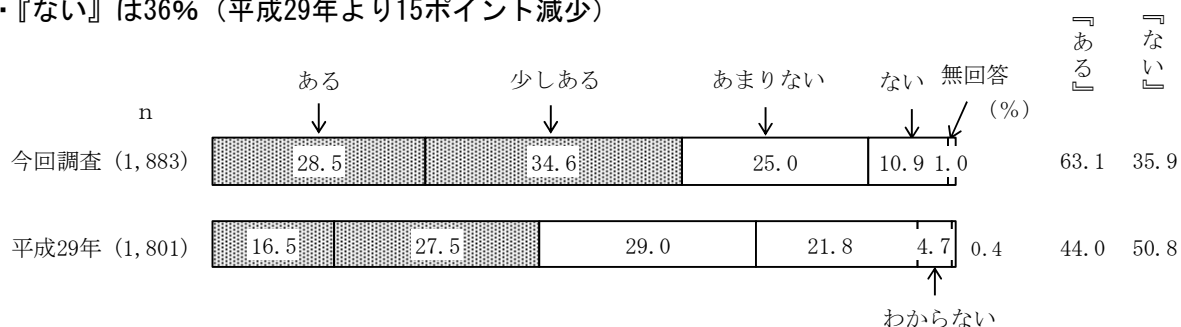
- ・「映画」が59%でトップ
- ・「展覧会（美術、歴史、写真、文芸など）」48%、「コンサート（ポップスなど）」42%、「演劇（ミュージカルなどを含む）」40%が続く



(3) 文化活動への興味・関心：自身が文化活動を行うことに興味・関心があるかを聞いた。

(本文P117～P119)

- ・『ある』は63%（平成29年より19ポイント増加）
- ・『ない』は36%（平成29年より15ポイント減少）



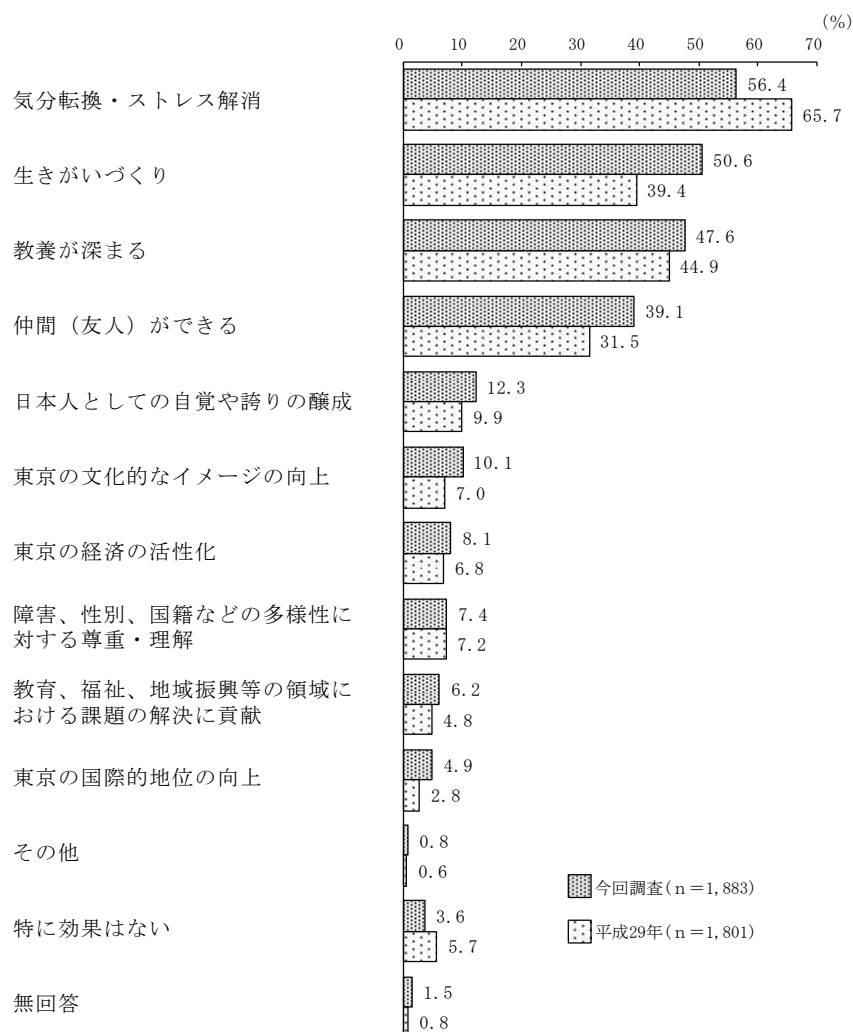
(注1) 『ある』は「ある」「少しある」の合計
 『ない』は「ない」「あまりない」の合計
 (注2) 「わからない」は今回調査で削除

(4) 文化活動の効果：文化活動を行うことで、どのような効果が生まれると思うかを聞いた。

(3M. A)

(本文P120～P123)

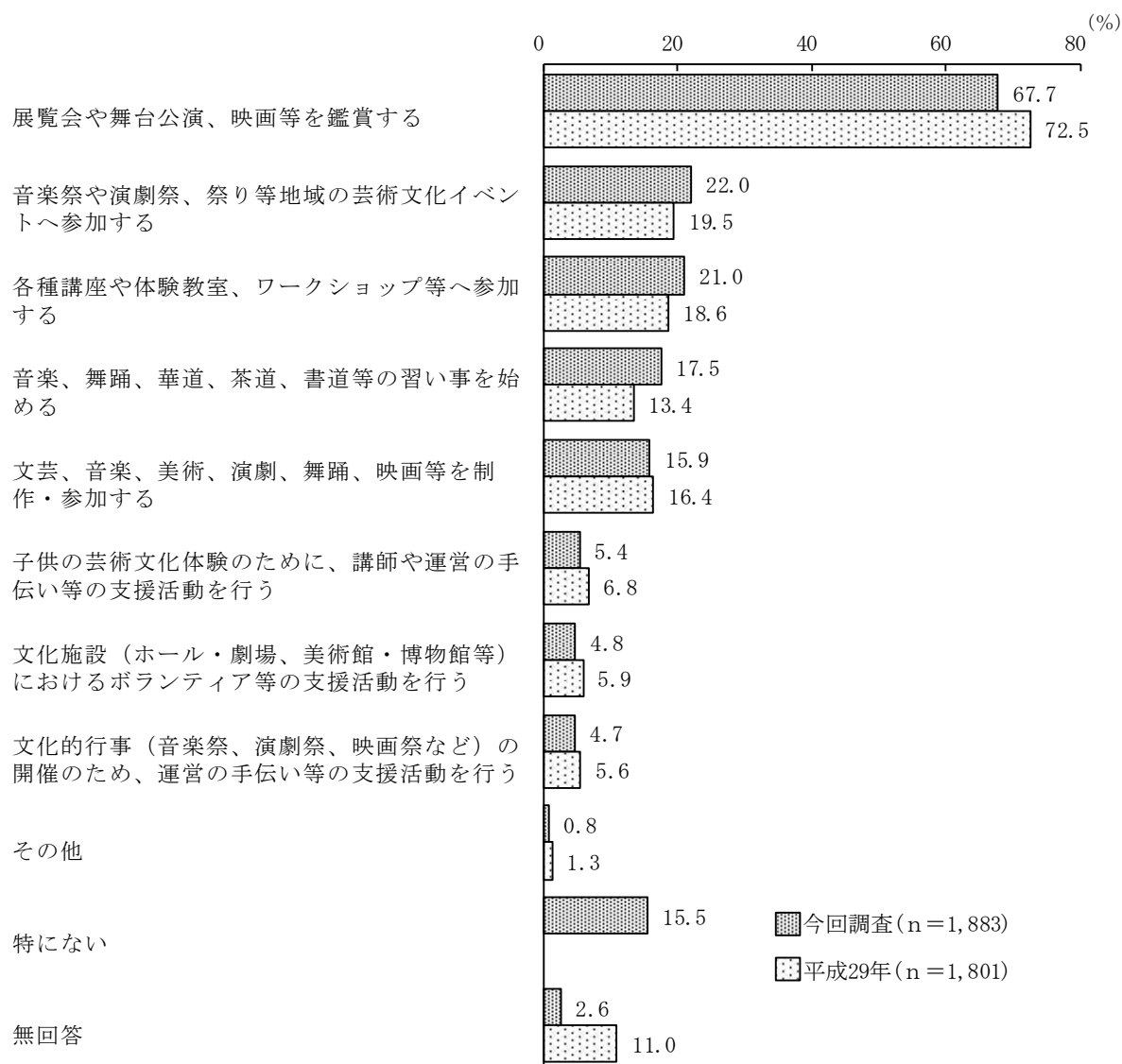
- ・「気分転換・ストレス解消」が56%でトップ
- ・「生きがいづくり」51%、「教養が深まる」48%、「仲間（友人）ができる」39%が続く



(5) 今後の文化活動：今後、どのような文化活動をしていきたいかを聞いた。(3M. A.)

(本文 P 124～ P 128)

- ・「展覧会や舞台公演、映画等を鑑賞する」が68%でトップ
- ・「音楽祭や演劇祭、祭り等地域の芸術文化イベントへ参加する」22%、「各種講座や体験教室、ワークショップ等へ参加する」21%、「音楽、舞踊、華道、茶道、書道等の習い事を始める」18%が続く



(注)「特にない」は今回調査より追加

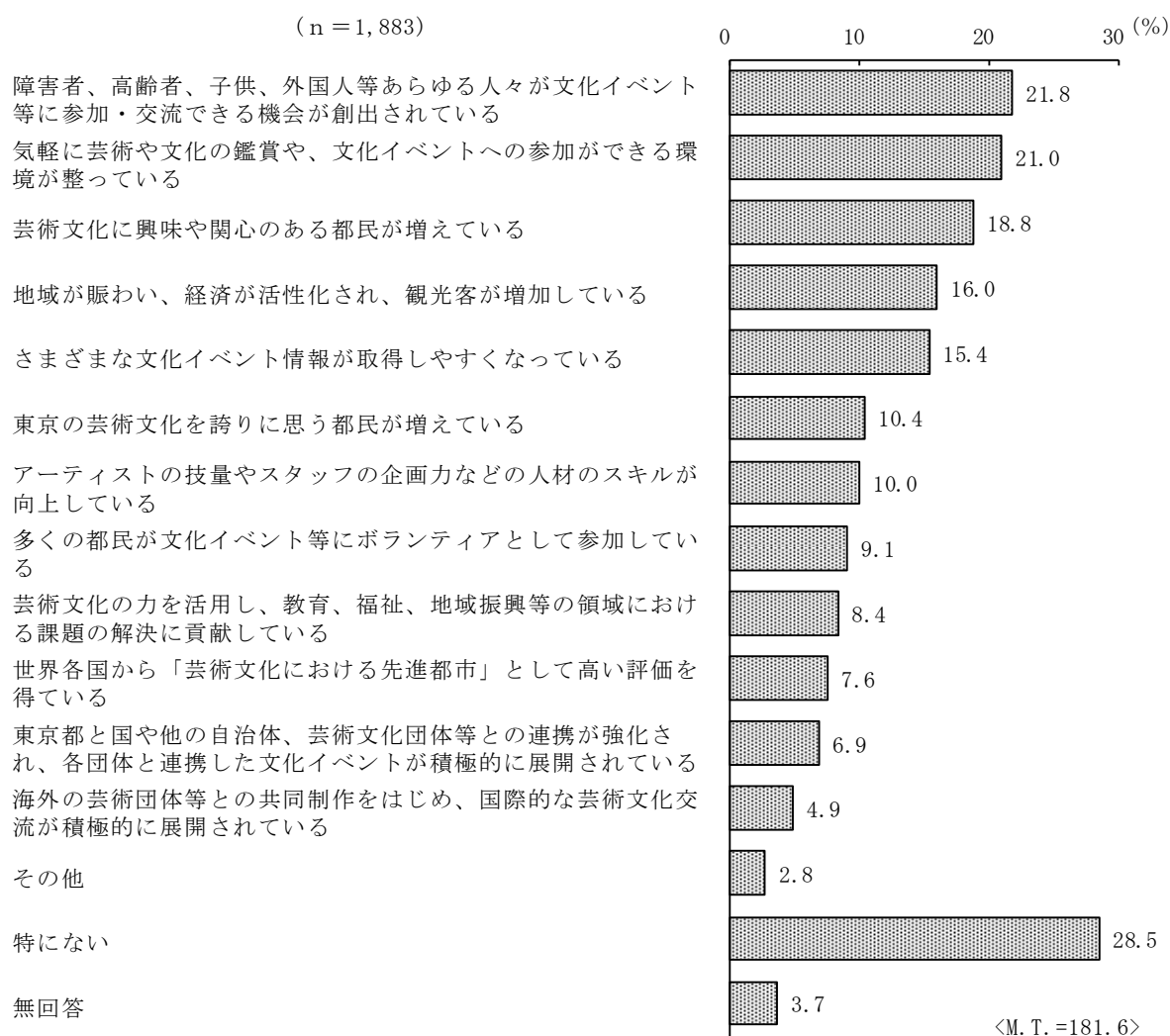
7 これからの東京の文化振興

(1) 文化的レガシーの継承：文化プログラムを通じて生まれたレガシー*がどのような形で受け継がれたらよいかを聞いた。(3M. A.)

(本文P129～P131)

* レガシー：オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催により開催都市や開催国が、長期にわたり継承・享受できる、大会の社会的・経済的・文化的恩恵

- ・「障害者、高齢者、子供、外国人等あらゆる人々が文化イベント等に参加・交流できる機会が創出されている」が22%でトップ
- ・「気軽に芸術や文化の鑑賞や、文化イベントへの参加ができる環境が整っている」21%、「芸術文化に興味や関心のある都民が増えている」19%、「地域が賑わい、経済が活性化され、観光客が増加している」16%が続く



(2) 文化施策に対する要望：東京の文化振興をさらに発展させるために、今後、東京都はどのような取組を積極的に進める必要があると思うかを聞いた。(3M. A.)

(本文 P132～P135)

- ・「子供の頃から美術館や劇場に親しめる環境を整備する」が42%でトップ
- ・「魅力的な展示・イベントを行う」33%、「東京から世界へはばたく若い芸術家を育成・支援する」27%、「民間企業等にも働きかけて、鑑賞料金等を安くする」21%が続く

